

---

# 東方project2次創作～俺が幻想入りしたZE!!～

蒼海斗

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

東方project 2次創作〜俺が幻想入りしたZE!!!〜

### 【Nコード】

N7018X

### 【作者名】

蒼海斗

### 【あらすじ】

主人公夜霧炎耶はある日出会った素敵な素敵なお姉様八雲紫によって幻想郷に拉致されて生活するはめになる  
そしてそこで色んな妖怪やら人やら吸血鬼とか幽霊とかに出会い生活する物語になる予定!!

俺が幻想入りしてしまいました！！（前書き）

初めまして蒼海斗です。

これは文才などが無い俺が思い付きで書いた小説です！

見苦しいところなどもあるでしょうが見てやってください！

俺が幻想入りしてしまいました！！

10月15日俺はこの日を永遠に忘れないだろう  
何故なら俺はこの日から神秘的な体験をするのだから物語の発端は  
ある一人の若いお姉様にあつた事に始まる

〈回想〉

お姉様『フッフ坊やこちらにいらっしやい』

俺『うん？あそこに金髪魅惑のボディの人が！！なるほどこれはい  
わゆる逆ナンというやつか！！どうやら遂に俺にも春が来た！！』

友人A『ちよつとまでよあの人どうみても胡散臭いぞ近づかない方  
が…て聞いてないし』

友人B『おいA彼奴はほつといてもう帰ろう』

友人A『そうするか彼奴の事だしなんとかなるだろうじゃあな炎耶<sup>えんや</sup>』

炎耶『うん？じゃあなモブキャラ2人』お姉様『ふーん貴方炎耶君  
ていうの良い名前ね苗字は何かしら？』

炎耶『ありがとうございます！！苗字は夜霧<sup>やぎり</sup>です！』

お姉様『そう夜霧ね…ああそういえば私の自己紹介してなかったわ  
ね私の名前は八雲紫よろしくね夜霧炎耶君』

炎耶『よろしくお願ひします八雲さん！！』

紫『それで1つ貴方にお願ひがあるのよ聞いてくれるかしら？』

炎耶『貴女の頼みなら何でも聞きますよ』

紫『そう嬉しいはなら貴女幻想郷に来なさい』

炎耶『どこですかそこ？』

紫『此所とは別の世界よ後これは命令であつて貴方に拒否権は無い  
わ幻想郷へ一命様ご案内！』

炎耶『はい？どういう意味でウワァア！』

突如地面にスキマがあらわれを吸い寄せられるように落ちていった

⋮

俺が幻想入りしてしまいました！！（後書き）

最後まで閲覧ありがとうございます！！

感想などをくれるとありえないぐらいに喜ぶのでくれると有難いです！

射命丸文登場！（前書き）

第2話です！

## 射命丸文登場！

突如地面にスキマがあらわれを吸い寄せられるように落ちていった…  
　　～スキマの中～

炎耶『ひい！！なんだよ気味悪い！！うわちよつとこんな現実だなんてありえねえ！！』

「スキマ内部でなにがあったかは皆様のご想像にお任せしますww。」

～幻想郷妖怪の山～

カパとスキマが開き炎耶は空から落ちる

炎耶『あははは！！ママパパ見て僕空飛んでるよ！あははは………』  
スガーンと勿論炎耶は空を飛ぶなんてチートは持ってないので墜落？『あやや？今の音はなんでしよう？何やらスクープの予感ですね！！行ってみましょう！！』

～墜落現場～

炎耶『うん？俺もしかして生きてる！？嘘だろ生きてるなんて空から落ちて生きてるなんて普通はありえないぞ！？』

？『それでも生きてるなら良かったじゃないですか貴方の考えてるように普通なら死んでましたよだからラッキーじゃないですか』

炎耶『え？うんまあそりゃそうだ生きてるならラッキーだな。ところで貴女は？』

？『初めまして！！私は清く正しい新聞記者射命丸文です！よろしくお願いしますね人間さん？』

炎耶『えつと夜霧炎耶ですよろしく』

文『炎耶さんですねわかりました。ところで貴方は一体どうして空から降って来たのですか？どうして生きてるのですか？』

炎耶『ちよつ待って下さいよ射命丸さん！！そんな一変に質問されても答えられませんよ！』

文『あやや少し急かしてしまいましたね。ではまず1つ質問ですよ』



ろしいですか？』

炎耶『あっはい』

文『貴方は一体どうして私の姿を見て何の反応も無いのですか？普通の人間なら大抵私を見ると何かしら反応を示すのですが貴方は何も疑問に思わないのですか？』

炎耶『疑問で言われてもな…え？羽が生えてる？というか空飛んでることい？何故？どうして？Why？』

文『まさか今更気付いたんですか？…』

炎耶『はい！！』

文『ふふ貴方は面白いお人ですね。私が羽が生えていて飛んでるのは鴉天狗という妖怪だからなのですよ』炎耶思考（妖怪？鴉天狗？射命丸文？はてなんだらうこのキーワードは何か引っ掛かるんだよなそういえば八雲紫さんと会ったときも何か引っ掛かたんだよな…）  
文『どうなされましたか？炎耶さん急に真剣な顔をして？』

炎耶『いやいや何もありませんただの考え事ですよ』文『炎耶さんそれともう一つ聞きたいのですがこれからどうするつもりですか？』

炎耶『そりや家に帰る…いやそれが無理だから言ってるんですよ

…』

文『はい貴方の想像してるように彼女に連れて来られたならここで生活するしかありませんね』

炎耶『なら取り合えず「人間」を探してみますよ山から降りればまあ会えるでしょうし色々世話になりましたありがとうございます  
射命丸さん』

文『炎耶さん待って下さい！！』

炎耶『なんですか？』

文『私貴方に興味を持ちましたなので私が責任を持って貴方を預かりましょう！！』

炎耶『どういう意味ですか？』

文『貴方のその思考の切り替えの早さが気に入ったので私と一緒に暮らしましょうという意味です！！』

炎耶『はい？俺が射命丸さんと同居？』

炎耶（ちよっ！！もしまこれはフラグという奴かそうなのか！！！そのなのだろう！！！）

文『それとも人里に行きますか？』

炎耶『是非射命丸さんと同居さしてください！！』

文『あやや即答ですね…それと同居するなら私の事は気軽に「文」と呼んでくださいね』

炎耶『わかったよよろしく頼むよ「文」。』

文『ええこちらこそよろしくお願ひします炎耶さん』文（ふふ彼には私と過ごす分たっぷりと仕事を手伝ってもらいますよう）

炎耶（拜啓お父様お母様僕は遂に女の子と一緒に楽しく生活できるようです幻想郷に来て良かった！！！）

射命丸文登場！（後書き）

最後まで閲覧ありがとうございます！！

飛べない人間はただの人間（前書き）

三話です!!

小説を書くって難しい…

## 飛べない人間はただの人間

文との同居生活が始まり早半年予想していた甘い甘いイベントは起きずに炎耶は毎日仕事を手伝われていた…

文「炎耶さん取材に行きますよ！！今日は先日紅い霧を出していた吸血鬼の居る紅魔館です！着いてきて下さいよ？」

炎耶「なあ文何度言ったらわかつてくれるんだ…俺はお前みたいに飛ぶなんて事は出来ないんだよ」

文「まだ飛べないんですかあんなに修行したのに！？」炎耶「人には出きる事と出来ない事があるんだよ…」炎耶（でも正直何故俺が飛べないのは才能のせいじゃないと思うんだよな…なんせ文以外にも教わったのだからな…）

（回想）

文「炎耶さん飛べるようになりましょう！！」

炎耶「唐突に何言ってるんだ文？」

文「だって貴方が飛べたら一緒に取材に行くとき楽しじゃないですか」

炎耶「いや俺は今までどうり走って行けば」

文「それだったら貴方を待っている時間が勿体無いじゃないですか！！！」

炎耶「なら1人で行けばいいんじゃない？」

文「いいえそれは駄目です！！今じゃ文。新聞は私と貴方の新聞ですから貴方もいかなければ駄目です！！」炎耶「うーわかったよ…どうやったら飛べるようになるんだ？」

文「そんなの簡単ですよこうちよつと念じればふわーと飛べますよ！！！」

炎耶『なるほど念じれば飛べるふわーと』

……

炎耶『あれ？飛べない？飛べないぞ文？』

文『あやや普通それで飛べるんですがね？』

炎耶『なら念じれば飛べるふわーと』

……

炎耶『飛べない!!』

文『ままあ最初は飛べないでしょうがきつと直ぐ飛べますよきつと

……』

炎耶『そうであると信じるか……』

一週間後……

炎耶『I can fly! I can fly!!俺は飛べる!!俺な

ら飛べる!!飛べ飛ぶんだ俺!!』

炎耶『……飛べない』

文『あややまだ飛べないんですか？』

炎耶『うん…飛べない』

文『まああもうすぐ飛べますよもうすぐ!!』

さらに一週間後

炎耶『文、俺はしばらく出掛けてくる!!多分一週間後には帰る!

!!』

文『何処へ行くつもりですか!?!その間修行はどうするんですか!

?』

炎耶『行って来ます!!』文『行ってしまいましたか……』

「博麗神社」

?『あら貴方が1人で来るなんて珍しいじゃない?何か用?』

炎耶『霊夢、お賽銭やるから空の飛び方教えてくれ!!』

霊夢『わかったわ任せなさい1日で飛べるよう鍛えてあげるわ』

## 1 週間経過

霊夢『炎耶貴方ふざけてるの？外来人で私に飛べるよう鍛えてくれて言ったのは何人もいるけど皆1週間も在れば余裕で飛べてるわよ？貴方ふざけてるでしよう？』

炎耶『……………真面目にやってます』

霊夢『まったく貴方才能が無いんじゃない？それなら魔理沙に教わった方が良いわよ？』

魔理沙『呼んだか霊夢？』 霊夢『噂をすればなんとやらね。魔理沙、炎耶が空飛びたいんだって教えてあげなさいよ貴方』

魔理沙『いいぜなら炎耶この幕に跨がるんだそして飛びたいと念じるんだすれば普通飛べるぜ？』

炎耶『なるほど……………飛べない!!』

魔理沙『炎耶お前才能がなくなってもこれは誰でも使えるぞ？』

炎耶『帰る……………』

魔理沙『まあ頑張れ…きつと飛べるさきつと』

霊夢『そうよ私があんだけ鍛えたんだから飛べるわよ!!』

炎耶『2人ともありがとう…』

## 「妖怪の山」

文『やつと帰りましたか!!一体どこいったんですか!!』

炎耶『まあ色々だ』

〈回想終了〉

炎耶（みたいないことがあったのになんで飛べないんだ俺は？）  
文『飛べないなら仕方ないですねなら走ってきてくださいよ?』

そして文と炎耶は紅魔館へと向かった

飛べない人間はただの人間（後書き）

最後まで閲覧ありがとうございます!!

感想とかも書いてくれると飛んで叫び喜びます!!



いざ行かん紅魔館！！（前書き）

第4話です！！

こんなに速く更新するのは最初だけ…

いざ行かん紅魔館！！

文『さあ紅魔館に取材に行きますよ！！飛べないなら走ってから来て下さいよ？』炎耶『ハイハイわかりましたよ走って行きますよどうせ俺は飛べませんよだ』

～行間～

？『ふふ彼が飛べないという事はちゃんと能力が効いてる見たいね彼が万一に能力を覚醒させたら大変な事になるものねそれだけは阻止しないとならないわ これからも彼を監視を頼むわよ』

『わかりました 様。しかし一体何故彼が能力を覚醒させたら大変な事になるんですか？』

様『それは内緒よフフ』

『はあ内緒ですか分かりました。さあ〇私と一緒に監視しを続けようか？』

『あれ〇何処に行ったんだ〇？〇—————！！』

～行間終了～

～霧の湖～

炎耶『確か紅魔館はこの辺だと思っただが…？』

？『そのあんた！！あたいの縄張りで何してるのよ！！』

大妖精『ちよつとチルノちゃんこの人なんにもしてないよ？』

炎耶『あたいの縄張り？誰だつてうわあバカだ』

バカ『アタイはバカじゃないもん！！』

炎耶『いやだつて名前もバカで表現されてるしさ』

大妖精『あつ本当だバカになってますね』

バカ『あんたアタイを舐めてたら痛い目にあうわよ人間なんてあたいに掛ければ余裕で倒せるんだからね!!』

大妖精『チルノちゃん炎耶さんもう行ったよ…』

バカ『え?あ、こらまで炎耶今日こそはあんたを倒すんだから!!』

炎耶『ちつもう追い付いて来たか?なら仕方ないよしわかったチルノ!!この問題を解いたらお前はさいきよーだ!』

問題 1 + 1は何?

正答: 2

バカの答え: 9!!

炎耶『残念ハズレ今日も俺の勝ちだな!俺は急いでるんだここで遊んでる暇は無いんだじゃあなバカと大妖精』

大妖精『あ、はいさよなら炎耶さん。ねえチルノちゃんこの問題前も間違えてるよ…』

バカ『違うもん9が答えだもん皆が間違ってるだけだもん!!』

大妖精『チルノちゃん…』

〔紅魔館〕

炎耶『やつとついた!!文は何処に居るんだ?もう中に入ったのか?じゃ俺も入らしてもらうか門番も居ないようだしでも変わった所にあるんだな入り口壁の一部が入り口とはな…』

門番『今日も平和ですねそういえばさっき文屋さんがもう1人連れが来るって居てましたけどきませんねなかなか…』

そして炎耶は検討違いの所から紅魔館へと入っていった…

いざ行かん紅魔館！！（後書き）

最後まで閲覧ありがとうございます！！

今回最初に入れた解りにくい行間に書いてあるように『あの人が』  
炎耶に空を飛ばないようしくんでます

その理由として能力の覚醒を阻止するですがこの能力というのはこの物語の核心部分にあたるため今の段階じゃ何もいえないので想像にお任せします

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7018x/>

---

東方project2次創作～俺が幻想入りしたZE!!～

2011年10月20日06時12分発行